



JP 取扱説明書..... 1～8頁

原文翻訳：本日本語訳は、Schmersal 本社のドイツ語原文を基に作成されたものであり、翻訳上の疑義がある場合、原文及び英文のみが有効となります。

内容

1 この文書について	
1.1 機能	1
1.2 対象：権限・資格のある人向け	1
1.3 使用記号の説明	1
1.4 適切な使用	1
1.5 安全上のご注意	1
1.6 誤使用に関する警告	1
1.7 免責事項	2
2 製品内容	
2.1 型番	2
2.2 特別仕様	2
2.3 目的と用途	2
2.4 技術データ	2
2.5 分類	3
3 取り付け	
3.1 通常の取り付け方法	3
3.2 寸法	3
4 電気配線	
4.1 電気配線上のご注意	3
5 操作・設置	
5.1 表示灯機能	3
5.2 端子部の説明	3
6 立上げと保全	
6.1 動作テスト	3
6.2 保全	3
7 取り外し・廃棄	
7.1 取り外し	3
7.2 廃棄	3
8 付録	
8.1 配線例	4
8.2 起動コンフィギュレーション	4
8.3 センサコンフィギュレーション	4
8.4 出力コンフィギュレーション	7
8.5 CE適合宣言書	8

1 この文書について

1.1 機能

この取扱説明書は、セーフティリレーユニットの取り付け・据付・試運転・安全操作・取り外しに必要な全ての情報を提供します。装置付近に完全かつ読みやすい状態で保管してください。

1.2 対象：権限・資格のある人向け

この取扱説明書に記述された全ての操作は、使用者によって認められた専門技術者が行ってください。

この取扱説明書を熟読し、コンポーネントの据付及び運転の前に、労働安全及び事故予防のための適用可能な全規定についてご確認ください。

組立作業員は、コンポーネントの選定、取り付け、内蔵に対して、他の技術仕様を遵守するのと同じように、慎重に整合規格を選択しなければなりません。

1.3 使用記号の説明



情報、助言、注釈：

この表示は役立つ追加情報を示します。



注意：取り扱いを誤った場合に、故障、機能不良が想定される内容を示しています。

警告：取り扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

1.4 適切な使用

本製品は、設備や機械の一部として安全関連機能を果たすために開発されたものです。設備や機械全体が的確に動作する事を保証する事は、製造者の責任です。

本製品は、下記に挙げられたバージョンまたは製造者によって許可されたアプリケーションに対してのみ使用されるべきものです。アプリケーションの範囲に関する詳細情報は、「製品内容」に記述されています。

1.5 安全上のご注意

使用者は、この取扱説明書内の注意書き、各国特有の据付規格、周知の安全法規および事故予防対策を遵守しなければなりません。



更なる技術情報については、エラン社カタログまたはインターネット (www.schmersal.net) 上のオンラインカタログをご参照ください。

仕様などの記載内容について予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

残留リスクは、取り付け・据付・操作・保全に関する説明書同様に安全に関する注意の監視時に周知されています。

1.6 誤使用に関する警告



本製品の不十分、不適切な使用および無効化の際は、人への危険、機械、設備への損害を負う可能性があります。EN 1088の関連注意事項もご参照ください。

1.7 免責事項

誤った取り付けやこの取扱説明書を正しく理解していないために起こった損害、故障は、免責事項となります。また、製造者により許可されていない代替・付属品による損害は、製造者の免責事項となります。

独自の修理・改造・変更は、安全上の理由から許可されておらず、その結果生じる損害に対して製造者は免責事項となります。

2 製品内容

2.1 型番

本取扱説明書は以下の型式名を対象としています。

SRB 206①-②		
番号	値	内容
①	ST	交差短絡監視機能なし
	SQ	交差短絡監視機能あり
②	24V	24 VAC / VDC
	230V	48 ... 230 VAC



同じ型式名シリーズの他の製品で提供されている付属部品であっても、改造は許可されておりません。改造された場合、安全機能を保証することが出来ません。機械指令への適合は、引渡し時の状況でのみ有効とされます。

2.2 特別仕様

2.1適用機種で挙げられていない特別仕様は一般仕様準じます。

2.3 目的と用途

安全回路内に取り付けられるセーフティリレーユニットは、制御盤に対して取り付けられます。また、安全機能に対してスライド式・ヒンジ式・取り外し可能な防護装置に設置される強制開離リミットスイッチまたは非常停止装置からの信号を評価します。

セーフティ機能として以下のことが定義されます。入力S11-12、S112-122の各端子間のすべて、または1つ以上の入力端子間が「開」のとき、安全出力13-14、23-24 が「開」であること。安全出力13-14、23-24 は、 B_{10d} 値の考慮の元に、以下の要求事項を満たしています。(DIN EN ISO13849-1の内容も参照)

- DIN EN ISO 13849-1に従ったカテゴリ4 - PL e-DIN EN 61508-2に従ったSIL 3- DIN EN 62061に従ったSILCL 3(DIN EN 954-1制御カテゴリ4)

DIN EN 13849-1の基づくパフォーマンスレベル (PL) を満たすためには、安全機能を持つ適切な部品 (センサ、ロジック、アクチュエータなど) を使用する必要があります。

2.4 技術データ

注意:	
規格:	IEC/EN 60204-1, EN 60947-5-1; EN ISO 13849-1, IEC/EN 61508
環境要求:	EN 60068-2-78
取り付け:	標準DINレール (EN 60715)
配線表示:	EN 60947-1
ケース材質:	プラスチック製、グラスファイバ一強化熱可塑性樹脂、通気性有
接点の材質:	AgCdO、セルフクリーニング、強制ガイド式
重量:	400 g
起動条件:	自動または起動ボタン
バックチェック回路 (Y/N):	Yes
動作時間:	通常50 ms
非常停止時の応答時間:	通常30 ms
電源異常時の応答時間:	対応可
機械的データ:	
接続タイプ:	ネジ端子式
ケーブル断面積:	最小0,25 mm ² , 最大2,5 mm ²
接続ケーブル:	単線・より線

ケーブル端子に対する締め付けトルク:	0.6 Nm
脱着可能な端子有 (Y/N):	Yes
機械的寿命:	1000万回
電氣的寿命:	要望があればディレーティングカーブ提供可
耐衝撃:	10 g / 11 ms
耐振動 (EN60068-2-6準拠):	10 ... 55 Hz, 振幅0.35 mm
耐環境性:	
使用周囲温度:	-25 °C ... +45 °C
保存周囲温度:	-40 °C ... +85 °C
保護構造:	ケース: IP40 端子: IP20 取り付け領域: IP54
空間距離・沿面距離 (IEC/EN 60664-1準拠):	4 kV/2 (基礎絶縁)
イミュニティ (電磁耐性):	EMC指令への適合
電氣的データ:	
初期状態での接点抵抗:	最大100 mΩ
消費電力:	24 V仕様: 最大3,6 W / 6,6 VA 230 V仕様: 最大6,8 VA
定格動作電圧 U_0 :	24 V仕様: 24 VDC -15% / +20%, リップル最大10% 24 VAC -15% / +10% 230 V仕様: 48 ... 240 VAC
周波数域:	50 Hz / 60 Hz
ヒューズ定格:	24 V仕様: F1: 内蔵電子ヒューズ、遮断電流 >1A、供給電圧切断後の復帰 230 V仕様: 第一段: ヒューズ、遮断電流 >1 A; 第二段: 内蔵電子ヒューズ (ハイブリッドヒューズ)、遮断電流 >0.12A
入力:	
交差短絡検出 (Y/N):	Yes (SRB 206SQ)
配線断線検出 (Y/N):	Yes
地絡検出 (Y/N):	Yes
NO接点数:	0
NC接点数:	2 ... 12
ケーブルの長さ:	1,5 mm ² : 1.500 m, 2,5 mm ² : 2.500 m
入力端子間の許容抵抗値:	最大40 Ω
出力:	
安全出力数:	2
補助出力数:	0
追加出力数:	6
安全出力のスイッチ切替能力:	13-14 / 23-24: 最大250 V, 6 A抵抗負荷 (誘導負荷の場合は接点保護時)
安全出力ヒューズ:	6.3 A スローブロー
IEC/EN 60947-5-1に従った使用カテゴリ:	AC-15 / DC-13: EN 60947-5-1
寸法 (高さ・幅・奥行):	100 mm × 45 mm × 121 mm
本取扱説明書で扱われている技術データは、定格動作電圧 U_0 、±0%の装置操作時に有効とされます。	

2.5 分類

規格：	EN ISO 13849-1, IEC 61508, EN 60947-5-1
PL:	停止カテゴリ0 : eまで
カテゴリ：	停止カテゴリ0 : 4まで (個別防護扉「開」時)
DC:	停止カテゴリ0 : 99% (High) (個別防護扉「開」時)
CCF:	> 65点
SIL:	停止カテゴリ0 : 3まで (個別防護扉「開」時)
耐用年数：	20年
(1チャンネル毎) B _{10d} 値：	微小負荷領域20% : 20,000,000 40% : 7,500,000 60% : 2,500,000 80% : 1,000,000 最大負荷100% : 400,000

$$MTTF_d = \frac{B_{10d}}{0.1 \times n_{op}} \quad n_{op} = \frac{d_{op} \times h_{op} \times 3600 \text{ s/h}}{t_{cycle}}$$

n_{op} = 126,720サイクルの年間平均作動回数において、最大負荷に関して、パフォーマンスレベル (PL) eが達成可能となります。

n_{op} = 年間平均作動回数

d_{op} = 年間平均作業日数

h_{op} = 1日平均作業時間数

t_{cycle} = 平均安全機能要求サイクル

(例 : 4回/1時間 = 1回/15分 = 900 秒)

(アプリケーション仕様パラメーターにより、負荷同様に h_{op}、d_{op}、t_{cycle}が変化します。)

3 取り付け

3.1 通常の実取り付け方法

取り付け部後部 (DINレールストップ側) を DIN EN 60715 に適合した DINレールにはめ込みます。

ケース後部を上げ、少し前方へ傾かせてセットし、ロックが掛かるまで押してください。

3.2 寸法

全ての寸法単位はmmです。

製品寸法 (高さ・幅・奥行き) : 100 × 45 × 121 mm

プラグイン端子付き : 120 × 45 × 121 mm

4 電気配線

4.1 電気配線上のご注意



電気配線は通電されていない状態で、専門技術者が実施してください。

配線例は附属文書を参照ください。

5 操作・設置

5.1 表示灯機能

- ・ K1 : チャンネル1リレー動作表示灯
- ・ K2 : チャンネル2リレー動作表示灯
- ・ U_B : 電源表示灯 (端子A1-A2に給電時点灯)
- ・ U_I : 内部回路動作表示灯 (端子A1-A2に電源供給時、かつ内蔵電子ヒューズが正常な場合に点灯)

5.2 端子部の説明

電源：	A1	+24 VDC / 24 VAC / 48 ... 230 VAC
	A2	0 VDC / 24 VAC / 48 ... 230 VAC
入力：		8.3 センサコンフィギュレーション参照
出力：	13-14	安全出力1 (停止カテゴリ0)
	23-24	安全出力2 (停止カテゴリ0)
バックチェック	X1-X3	自動リセット
回路：		
起動：	X1-X2	マニュアルスタート (リセットボタン、監視有り)
追加表示出力：	41-42	補助接点

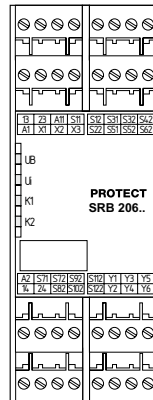


図1

6 立上げと保全

6.1 動作テスト

本製品は、安全機能に関してテストされなければなりません。ここでは、以下を確認して下さい。

1. 製品が確実に取り付けられていることを確認してください。
2. ケーブル配置や接続状態を確認してください。
3. ケースの損傷を確認してください。
4. 接続されたセンサの電気機能とそのセーフティリレーユニット・後続のアクチュエータに対する影響を確認して下さい。

6.2 保全

下記の通常保全を推奨します。

1. セーフティリレーユニットが確実に取り付けられているか確認して下さい。
2. ケーブルに損傷が無い事を確認してください。
3. 製品が正しく動作しているかを確認してください。

破損、故障した際は交換してください。

7 取り外し・廃棄

7.1 取り外し

本製品は、必ず電源を切った状態で取り外してください。

7.2 廃棄

本製品は、国家規格・法規に従って適切に専門的な措置により廃棄されなければなりません。

8 付録

8.1 配線例

最低一つが強制隔離されている2つの接点、外部リセット鈕[Ⓜ]付防護扉監視例などの2チャンネル構成

- ・出力レベル：2チャンネル構成。強制ガイドリレーまたはコンタクタによる接点強化・多チャンネル化に適しています。
- ・扉監視回路の断線・地絡・（SQ仕様のみ交差短絡も）を検出します。
- ・[Ⓜ] =バックチェック回路

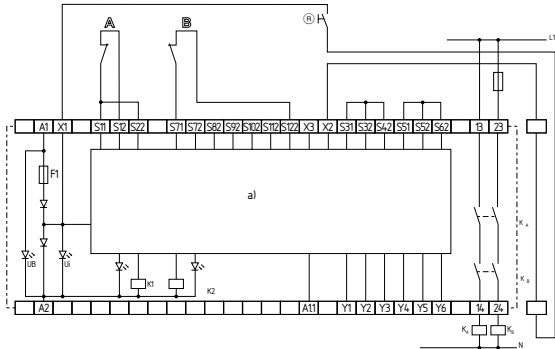


図2
a) 制御ロジック

8.2 起動コンフィギュレーション

自動リセット（図3参照）

- ・自動起動のプログラミングは、バックチェック回路の接続により端子X1-X3で行われます。バックチェック回路が不要な場合においては、ブリッジ接続が行なわれます。
- ・本製品を自動リセットで使用する場合、非常停止後の再起動はEN 60204-1の9.2.5.4.2および10.8.3に基づき上位のシステムによって予防してください。（意図しない起動防止）

手動リセット（監視有り）（図4参照）

- ・外部リセットボタンの接続は端子X1-X2で行われます。
- ・リレーユニットは、リセットボタン（=エッジ検出）の（解放後の）復帰により動作します。本製品は、リセットボタンを押して離すとリセットします。（立下りスイッチング機能）リセットボタンに異常（接点溶着や動作不良など）が発生した場合は、再起動時にシステムが停止します。
- ・バックチェック回路は、リセットボタンに直列接続されます。

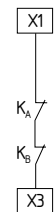


図3

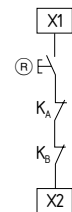


図4

8.3 センサコンフィギュレーション

EN 418/EN 60947-5-5に従った6個の非常停止スイッチ回路

（図5 a-f参照）

- ・2チャンネル式制御
- ・制御により、制御回路の地絡（SRB 206ST-24VとSRB 206SQ-24Vのみ）と断線が検出されます。
- ・制御回路の交差短絡は検出されます。（SRB 206 SQ-24VとSRB 206 SQ-230Vのみ）
- ・（6個未満のセンサ接続の）部分配置に関しては、必要なブリッジ接続が記載されている次の表を参照して下さい。

1 非常停止回路接続：		ブリッジ：
NC 1	S11-S12	S11 / S22 / S31 / S32 / S42 / S51
NC 2	S71-S122	/ S52 / S62

2 非常停止回路接続：		ブリッジ：
NC 1	S11-S12	S31 / S32 / S42 / S51 / S52 / S62
NC 2	S71-S72	
NC 3	S11-S22	
NC 4	S72-S122	

3 非常停止回路接続：		ブリッジ：
NC 1	S11-S12	S31 / S42 / S51 / S52 / S62
NC 2	S71-S72	
NC 3	S11-S22	
NC 4	S72-S82	
NC 5	S31-S32	
NC 6	S82-S122	

4 非常停止回路接続：		ブリッジ：
NC 1	S11-S12	S51 / S52 / S62
NC 2	S71-S72	
NC 3	S11-S22	
NC 4	S72-S82	
NC 5	S31-S32	
NC 6	S82-S92	
NC 7	S31-S42	
NC 8	S92-S122	

5 非常停止回路接続：		ブリッジ：
NC 1	S11-S12	S51 / S62
NC 2	S71-S72	
NC 3	S11-S22	
NC 4	S72-S82	
NC 5	S31-S32	
NC 6	S82-S92	
NC 7	S31-S42	
NC 8	S92-S102	
NC 9	S51-S52	
NC 10	S102-S122	

6 非常停止回路接続：		ブリッジ：
NC 1	S11-S12	無
NC 2	S71-S72	
NC 3	S11-S22	
NC 4	S72-S82	
NC 5	S31-S32	
NC 6	S82-S92	
NC 7	S41-S42	
NC 8	S92-S102	
NC 9	S51-S52	
NC 10	S102-S112	
NC 11	S51-S62	
NC 12	S112-S122	

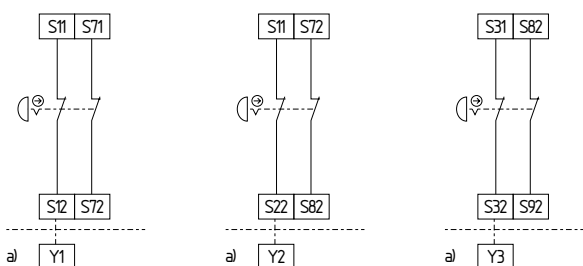


図 5a
a) 補助出力

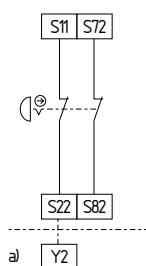


図 5b
a) 補助出力

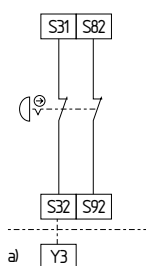


図 5c
a) 補助出力

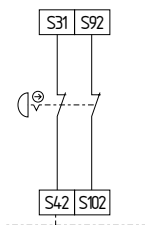


図 5d
a) 補助出力

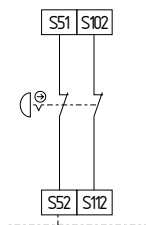


図 5e
a) 補助出力

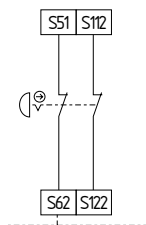


図 5f
a) 補助出力

最低限一つの強制隔離リミットスイッチ付EN1088に従った6個の防護屏監視 (図6 a-f参照)

- ・ 2チャンネル式制御
- ・ 制御により、制御回路の地絡 (SRB 206ST-24VとSRB 206SQ-24Vのみ) と断線が検出されます。
- ・ 制御回路の交差短絡は検出されます。(SRB 206 SQ-24VとSRB 206 SQ-230Vのみ)
- ・ (6個未満のセンサ接続の) 部分配置に関しては、必要なブリッジ接続が記載されている次の表を参照して下さい。

1防護屏接続 :	ブリッジ :
NC 1 S11-S12	S11 / S22 / S31 / S32 / S42 / S51
NC 2 S71-S122	/ S52 / S62

2防護屏接続 :	ブリッジ :
NC 1 S11-S12	S31 / S32 / S42 / S51 / S52 / S62
NC 2 S71-S72	
NC 3 S11-S22	
NC 4 S72-S82	

3防護屏接続 :	ブリッジ :
NC 1 S11-S12	S31 / S42 / S51 / S52 / S62
NC 2 S71-S72	
NC 3 S11-S22	
NC 4 S72-S82	
NC 5 S31-S32	
NC 6 S82-S122	

4防護屏接続 :	ブリッジ :
NC 1 S11-S12	S51 / S52 / S62
NC 2 S71-S72	
NC 3 S11-S22	
NC 4 S72-S82	
NC 5 S31-S32	
NC 6 S82-S92	
NC 7 S31-S42	
NC 8 S92-S122	

5防護屏接続 :	ブリッジ :
NC 1 S11-S12	S51 / S62
NC 2 S71-S72	
NC 3 S11-S22	
NC 4 S72-S82	
NC 5 S31-S32	
NC 6 S82-S92	
NC 7 S31-S42	
NC 8 S92-S102	
NC 9 S51-S52	
NC 10 S102-S122	

6防護屏接続 :	ブリッジ :
NC 1 S11-S12	無
NC 2 S71-S72	
NC 3 S11-S22	
NC 4 S72-S82	
NC 5 S31-S32	
NC 6 S82-S92	
NC 7 S41-S42	
NC 8 S92-S102	
NC 9 S51-S52	
NC 10 S102-S112	
NC 11 S51-S62	
NC 12 S112-S122	

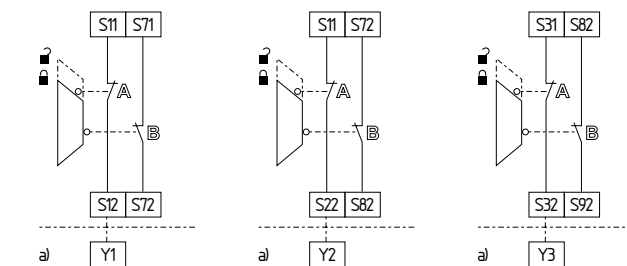


図 6a
a) 補助出力

図 6b
a) 補助出力

図 6c
a) 補助出力

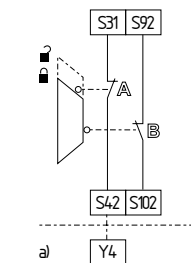


図 6d
a) 補助出力

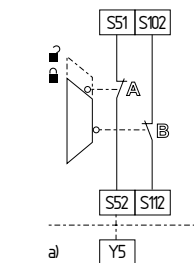


図 6e
a) 補助出力

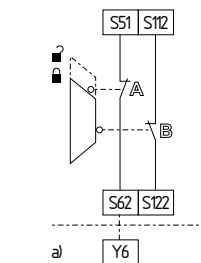


図 6f
a) 補助出力

一つの強制開離リミットスイッチ付EN1088に従った6個の防護扉監視 (SRB 206 ST-24V/-230V仕様のみ。図7 a-f参照)

- ・1チャンネル制御、補助出力Y1...Y6の状況に関して、次の表を参照して下さい。
- ・制御回路の断線と地絡を検出します。
- ・(6個未満のセンサ接続の)部分配置に関しては、必要なブリッジ接続が記載されている次の表を参照して下さい。

1防護扉接続 :		ブリッジ :
NC 1	S71-S72	S72 / S12 / S22 / S32 / S42 / S52 / S62 / S122
2防護扉接続 :		ブリッジ :
NC 1	S71-S12	S12-S72 / S82 / S22 / S32 / S42 / S52 / S62 / S122
NC 2	S72-S82	S52 / S62 / S122
3防護扉接続 :		ブリッジ :
NC 1	S71-S12	S12-S72 / S22-S82 / S92 / S32 / S42 / S52 / S62 / S122
NC 2	S72-S22	/ S52 / S62 / S122
NC 3	S82-S92	
4防護扉接続 :		ブリッジ :
NC 1	S71-S12	S12-S72 / S22-S82 / S32-S92 / S102 / S42 / S52 / S62 / S122
NC 2	S72-S22	/ S42 / S52 / S62 / S122
NC 3	S82-S32	
NC 4	S92-S42	
5防護扉接続 :		ブリッジ :
NC 1	S71-S12	S12-S72 / S22-S82 / S32-S92 / S42-S102 / S112-S52 / S62-S122
NC 2	S72-S22	S102 / S112-S52 / S62-S122
NC 3	S82-S32	
NC 4	S92-S42	
NC 5	S102-S112	
6防護扉接続 :		ブリッジ :
NC 1	S71-S12	S12-S72 / S22-S82 / S32-S92 / S42-S102 / S112-S52 / S62-S122
NC 2	S72-S22	S102 / S112-S52 / S62-S122
NC 3	S82-S32	
NC 4	S92-S42	
NC 5	S102-S52	
NC 6	S112-S62	

Y1	Y2	Y3	Y4	Y5	Y6	状態
1	1	1	1	1	1	全扉「閉」
1	1	1	1	1	0	扉6「開」
1	1	1	1	0	0	扉5「開」
1	1	1	0	0	0	扉4「開」
1	1	0	0	0	0	扉3「開」
1	0	0	0	0	0	扉2「開」
0	0	0	0	0	0	扉1「開」

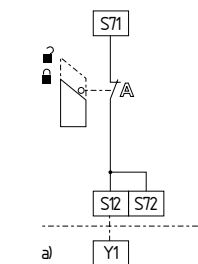


図 7a
a) 補助出力

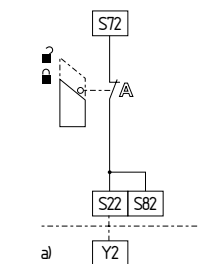


図 7b
a) 補助出力

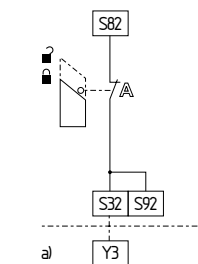


図 7c
a) 補助出力

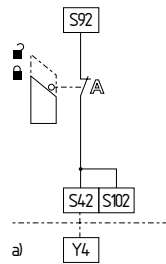


図 7d
a) 補助出力

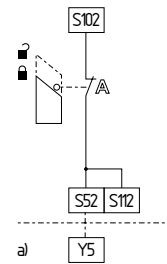


図 7e
a) 補助出力

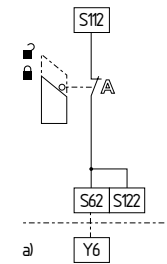


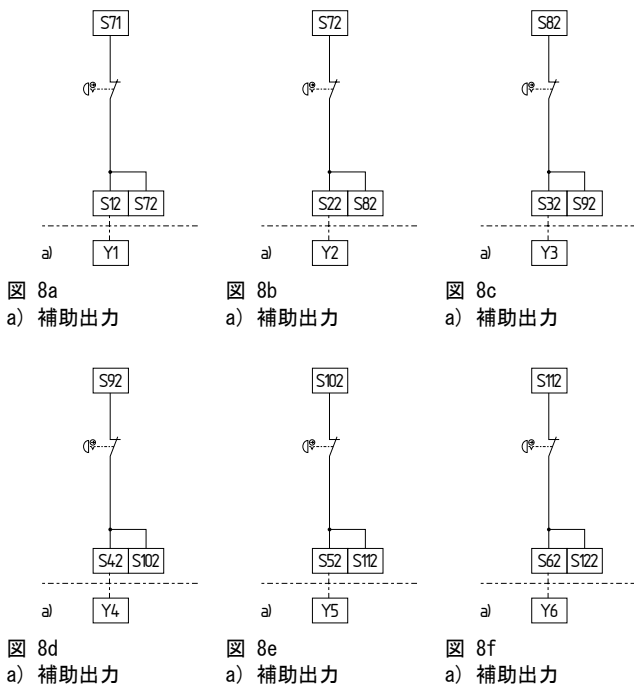
図 7f
a) 補助出力

EN 418 / EN 60947-5-5に従った6個の非常停止スイッチ回路 (SRB 206ST-24V / -230V仕様のみ可。図8 a-f参照)

- ・1チャンネル式制御
- ・制御回路の断線と地絡を検出します。
- ・(6個未満のセンサ接続の)部分配置に関しては、必要なブリッジ接続が記載されている次の表を参照して下さい。

1 非常停止回路接続 :		ブリッジ :
NC 1	S71-S72	S72 / S12 / S22 / S32 / S42 / S52 / S62 / S122
2 非常停止回路接続 :		ブリッジ :
NC 1	S71-S12	S12-S72 / S82 / S22 / S32 / S42 / S52 / S62 / S122
NC 2	S72-S82	S52 / S62 / S122
3 非常停止回路接続 :		ブリッジ :
NC 1	S71-S12	S12-S72 / S22-S82 / S92 / S32 / S42 / S52 / S62 / S122
NC 2	S72-S22	/ S52 / S62 / S122
NC 3	S82-S92	
4 非常停止回路接続 :		ブリッジ :
NC 1	S71-S12	S12-S72 / S22-S82 / S32-S92 / S102 / S42 / S52 / S62 / S122
NC 2	S72-S22	/ S42 / S52 / S62 / S122
NC 3	S82-S32	
NC 4	S92-S102	
5 非常停止回路接続 :		ブリッジ :
NC 1	S71-S12	S12-S72 / S22-S82 / S32-S92 / S42-S102 / S112-S52 / S62-S122
NC 2	S72-S22	S102 / S112-S52 / S62-S122
NC 3	S82-S32	
NC 4	S92-S42	
NC 5	S102-S112	
6 非常停止回路接続 :		ブリッジ :
NC 1	S71-S12	S12-S72 / S22-S82 / S33-S92 / S42-S102 / S112-S52 / S62-S122
NC 2	S72-S22	S102 / S112-S52 / S62-S122
NC 3	S82-S32	
NC 4	S92-S42	
NC 5	S102-S52	
NC 6	S112-S62	

Y1	Y2	Y3	Y4	Y5	Y6	状態
1	1	1	1	1	1	非常停止卸不作動
1	1	1	1	1	0	非常停止6動作中
1	1	1	1	0	0	非常停止5動作中
1	1	1	0	0	0	非常停止4動作中
1	1	0	0	0	0	非常停止3動作中
1	0	0	0	0	0	非常停止2動作中
0	0	0	0	0	0	非常1動作中



注意

- ・ EN954-1に従った最大制御カテゴリ4（同時に1個の非常停止釦・防護扉だけが「開」する時）となります。制御カテゴリ4で特別に要求されるエラー蓄積のリスクに対応するために、起動テストにより定期的にスイッチを確認する追加予防方策が推奨されます。
- ・ EN954-1に従った最大制御カテゴリ3（複数の非常停止釦・防護扉が「同時開」する時）となります。
- ・ 個別のセンサのエラーは安全機能を損ねません。
- ・ 個別エラーが発生する場合、安全機能は保持されたままとなります。しかしながら、全てのエラーが検出される訳ではありません。検出されないエラーの蓄積により、安全機能が損なわれる場合があります。

補助出力の配線例（図9参照）

- ・ 補助出力Y1-Y6における外部LED表示による扉位置の視覚化
- ・ 閉じられた防護扉では、補助出力は24Vとなります。

! 補助出力は安全回路に対して使用してはなりません！

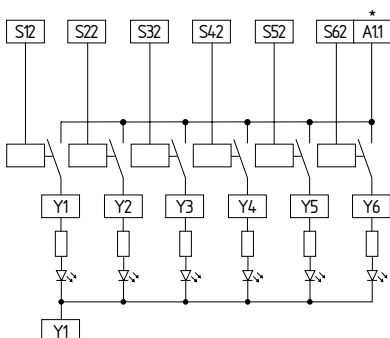


図9

* = 24 VDC外部

8.4 出力コンフィギュレーション

1チャンネル制御（図10参照）

- ・ 強制ガイド式リレーまたはコンタクタによる接点数の増設や接点容量の増幅に適しています。
- ・ HC = バックチェック回路：バックチェック回路が不要な場合においては、ブリッジ接続が行なわれます。

2チャンネル制御（図11参照）

- ・ 強制ガイド式リレーまたはコンタクタによる接点数の増設や接点容量の増幅に適しています。
- ・ HC = バックチェック回路：バックチェック回路が不要な場合においては、ブリッジ接続が行なわれます。

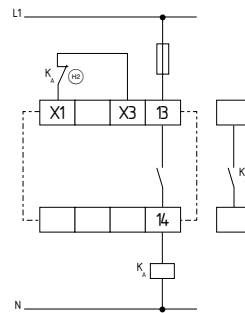


図10

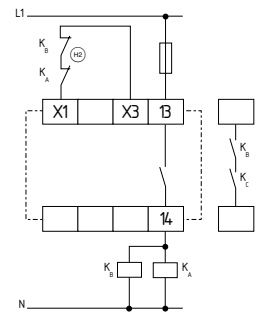




図11

8.5 CE適合宣言書

CE適合宣言書		
適合宣言書原文翻訳 2009年12月29日以降有効		Elan Schaltelemente GmbH & Co. KG Im Ostpark 2 · 35435 Wettenberg Germany Internet: www.elan.de
ここに、次のセーフティコンポーネントが欧州機械指令の要求事項に適合していることを宣言する。		
製品名:		SRB 206ST SRB 206SQ
製品内容:		非常停止スイッチ、扉監視機器に 対するセーフティリレーユニット
関連EC指令:		2006/42/EC 機械指令 2004/108/EC EMC指令
技術文書の責任者:		Ulrich Loss Möddinghofe 30 42279 Wuppertal
2006/42/EC 機械指令付属Xに従った品質システムの認証機関:		TÜV Rheinland Industrie Service GmbH 認証部門 Alboinstraße 56 12103 Berlin 認識番号: 0035
発行場所・日付:		Wuppertal、2009年10月6日
SRB206ST_SQ-B-JP		
	法的署名 Heinz Schmersal 社長	



注意
最新の適合宣言書は、インターネット (www.schmersal.net) でダウンロード可能。



Elan Schaltelemente GmbH & Co. KG
Im Ostpark 2 · 35435 Wettenberg
Postfach 1109, D - 35429 Wettenberg

Telefon: +49 (0) 641 9848-0
Telefax: +49 (0) 641 9848-420
E-Mail: info-elan@schmersal.com
Internet: www.elan.de